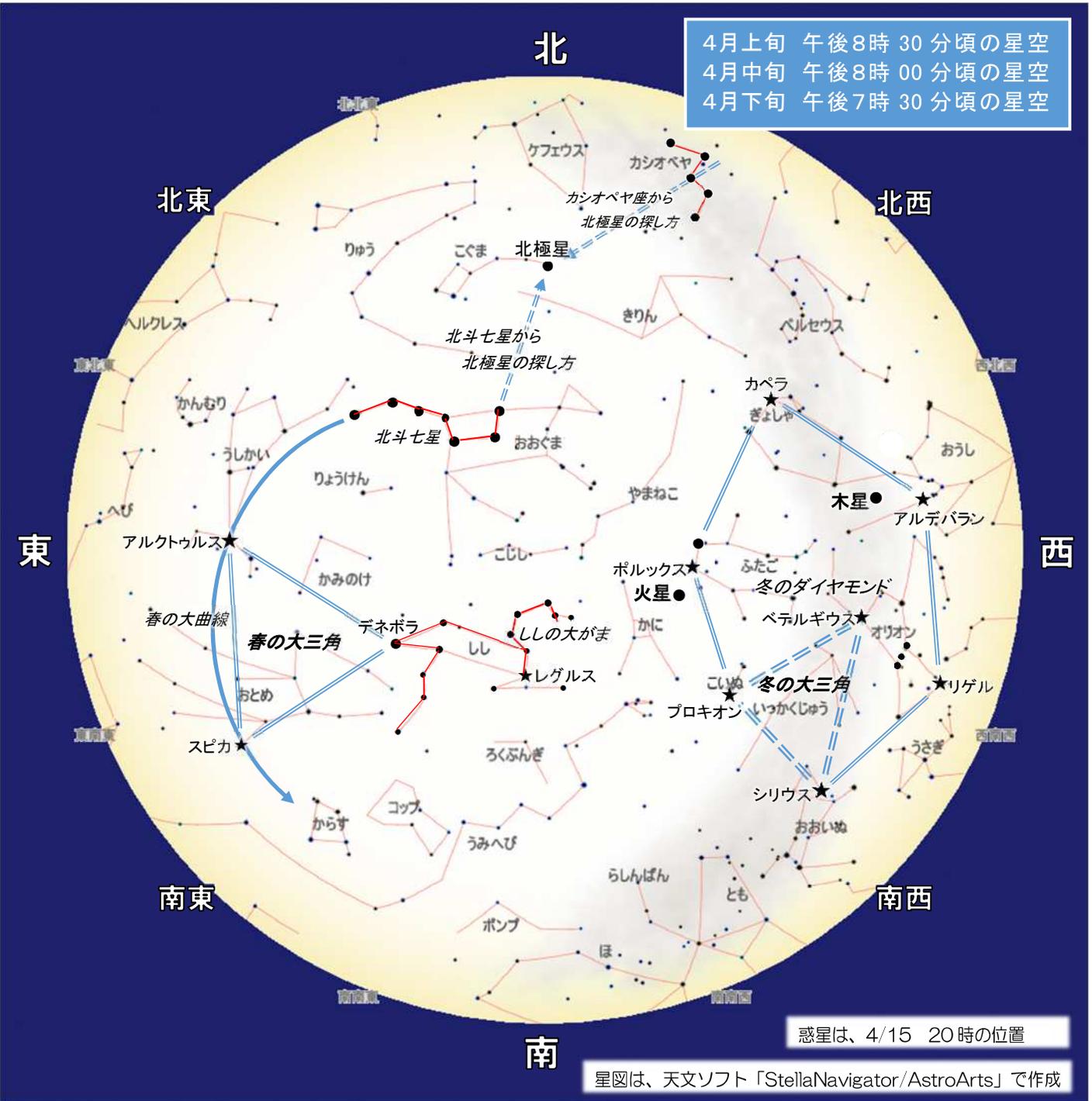


2025年 4月の星空案内



【4月の星空】
 夕方の西の空には、まだ冬の星座が目立ちます。東の空に春の星座がのぼってきます。北斗七星の曲がった柄の部分延ばすと、うしかい座の1等星「アルクトゥルス」、その先には おとめ座の1等星「スピカ」が見つかり、この曲線を『春の大曲線』といいます（さらに延ばすと「からす座」）。南の空高く、太陽の通り道に輝く、しし座の1等星「レグルス」は、小さな王様という意味です。『春の大三角』は、しし座のしっぽの2等星「デネボラ」、うしかい座の「アルクトゥルス」、おとめ座の「スピカ」を結びます。

【4月の天文現象】
 4月初旬、夕空のおうし座には木星、ふたご座には火星が輝いています。4月2日から6日にかけては、これらの惑星の近くを月が日ごとにふくらみながら通りすぎていく様子が楽しめます。夕方の西の空に見えていた金星は、春には明け方の東の空に姿を現します。4月27日には-4.8等で輝きます。